

新品種「白の宝石」食味が良く根形の揃いが良い小カブ

カブの交配種は揃い性が良い一方、固定種や在来種のなかには採種条件等により根形が不揃いな品種があります。

そこで、既存の固定種を素材に、根形の揃いがよくかつ自家採種もできる有機栽培に適したカブを育成しました。

品種の特長

1. 少肥で生育し、食味が良い。
2. 草姿は半立性。葉は葉縁に小さい切れ込みがある。
3. 根部は純白でやや腰高の偏円形で尻づまりが良く揃いが良い。
4. 肉質はややち密で甘みがあり、葉も柔らかく漬け物や煮食に使える。

導入メリット

播種後56日でもす入りがなく、不良個体が少ない。

表1 根部の不良個体(個)

品種	良品	病害	虫害	奇形	交雑	裂根
白の宝石	16	3	1	0	0	0
市販固定種	10	4	1	1	2	2

※表1 播種後56日 調査個体各品種20個体

栽培の留意点

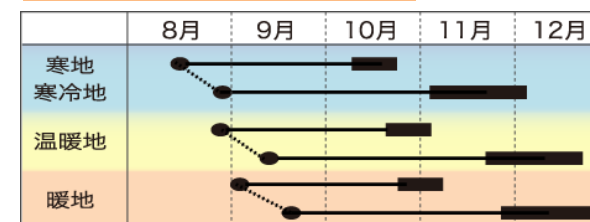
- ・秋播き用(春播きでは根形の揃いが悪くなる)。
- ・黒ボク土で選抜したため、灰色低地土で栽培した場合、根形の揃いが悪くなる傾向がある。

導入をお勧めする対象

家庭菜園者、有機栽培者、新規就農者の直売や自給用



適作型



新品種「信州みどり」固定種の中形ピーマン

日本の固定種ピーマンには、ししとう形とベル形はありますが、消費の主流である中形のピーマンがありません。そこで、市販の交配種を素材に、自家採種もできる中長形の固定種ピーマンを育成しました。



品種の特長

1. 露地栽培に最適な固定種の夏秋用中形ピーマン。
2. 草姿は半立性で枝が垂れにくく、草勢は比較的強い。
3. 栽培全期間を通じて果色は濃緑でツヤがよい。

導入メリット

中長の「信州みどり」はベル形の「自生えピーマン」に収量性が高い。

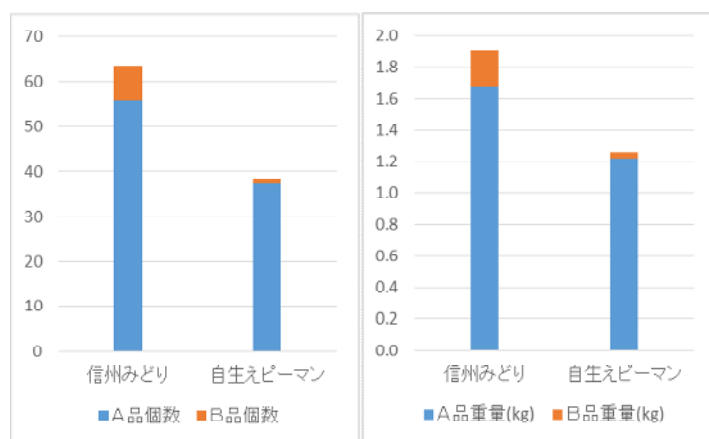


図1 株当たり個数(左)と重量(g) (右)(2018)

導入をお勧めする対象

家庭菜園者、有機栽培者や
新規就農者の直売や自給用

栽培の留意点

初期生育を促すため、有機物の秋施用や局所施用、地温の確保を行い、定植後の活着を促す。

適作型

